

# 新神戸オリエンタルシティ・ C3鉄骨工事

Construction of SHIN-KOBE Oriental City・C3

川田工業㈱・四国工場

## 1. 工事紹介

本工事は、山陽新幹線“新神戸駅”横に位置し、ホテルをメインに、ショッピングプラザおよび劇場を有する37階建ての超高層ビルである。ミナト・神戸に調和した三角屋根は、ひときは映え、観光、商用に大いに利用されるものと思われる。

## 2. 工事概要

工事名称：新神戸オリエンタルシティ・C3新築工事

施主：(株)神戸セントラル開発

設計・監理：(株)竹中工務店

施工：(株)竹中工務店

鉄骨製作：川田工業㈱

工事場所：神戸市中央区北野町1丁目1番3号

階数：地下3階，地上37階，塔屋1階

軒高：GL+146.2m

構造概要：低層部 柱-SRC，梁-SRC・S造  
高層部 柱・梁-S造

鉄骨重量：約14,200ton

鉄骨工期：昭和61年3月～昭和63年1月

## 3. 設計的特徴

本件は、設計の基本計画の段階で、鉄骨製作者と設計者の間で、詳細設計時に、柱の貫通形状、継手形状、仕口内の補強リブの形状、溶接脚長、塗装に至るまでの全般について、協議の上決定し、それに基づいて施工された工事である。

## 4. 構造的特徴

低層は十字柱，高層は12階以上はビルトアップボックス柱であり，また桁高4m程度で，スパン20～30mのトラス梁が20数台あるなど多様な形式であり，建築物の中に，スロープ，伸縮継手などと複雑な構造が多く，高い製品精度が要求される工事となっている。

## 5. 建方状況

現場の建方については，昭和61年5月より構真柱の打込み作業が，2本/日ペースで2ヵ月間に渡って行われ，

それから地上部の建方を行うと同時に地下の堀削を行う逆打ち工法で作業が進められた。

地上部の建方については，まず超高層部の建方が先行して行われ，その後，低層西工区，東工区と進み，最盛期には3工区同時建方を行うという忙しさでしあったが，昭和63年1月には建方，デッキ作業，および，鍛冶作業が完了する予定である。

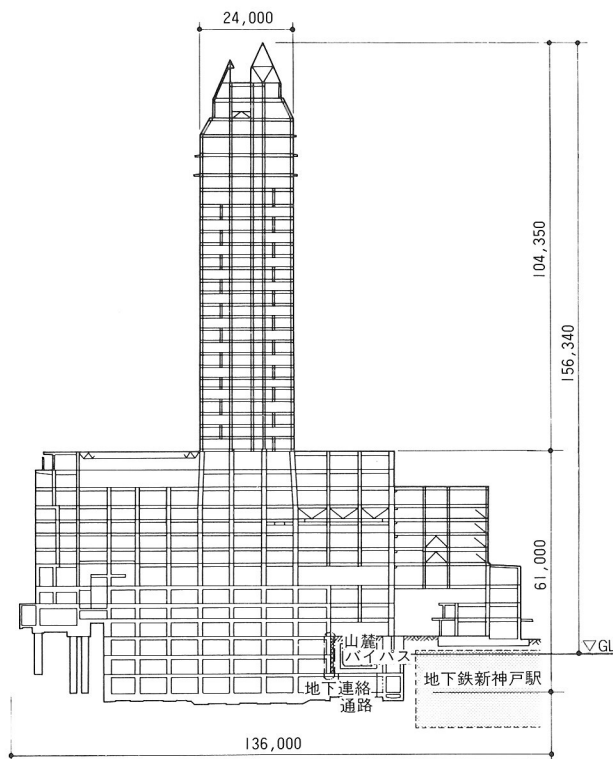


図-1 軸組図

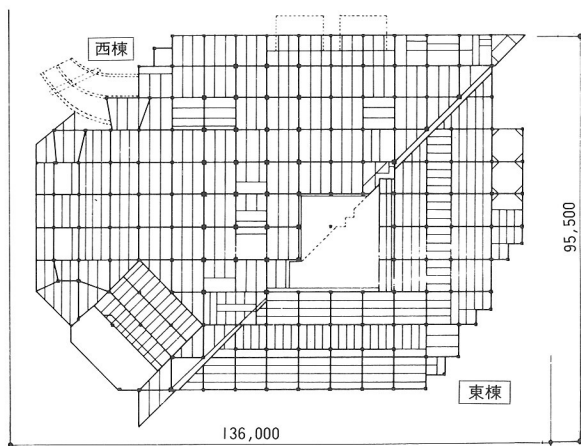


図-2 床伏図

(文責・吉田巳喜男)